



# 病院NEWS

no.  
336  
2012  
06/01



The Hospital News, Faculty of Medicine Kagawa University



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 千田 彰一

## 小児成育外科科長就任挨拶



小児成育外科科長  
下野 隆一

平成24年4月1日付をもって香川大学医学部附属病院小児成育外科科長ならびに香川大学医学部母子科学講座小児外科担当准教授を拝命いたしました。

この場をお借りしてご挨拶申し上げます。当診療科(講座)の歴史は古く、これまでの輝かしい業績や当教室の出身者の活躍はよく知られており、そのようなりっぱな診療科を受け継ぐことは非常に名誉なことと感じております。

さて、私は昭和63年に鹿児島大学医学部を卒業し、同大学小児外科に入局いたしました。これまで約24年間、鹿児島大学、国立小児病院(現国立成育医療センター)、東京都立清瀬小児病院(現東京都立総合小児医療センター)、鹿児島市立病院、ロンドン大学クイーンメアリー校などで小児外科の臨床、研究、教育に携わって参りました。

臨床では新生児疾患(先天性食道閉鎖症、横隔膜ヘルニア、腸閉鎖症、直腸肛門奇形など)、小児腫瘍疾患(神経芽腫、肝芽腫、腎芽腫など)をはじめ、急性腹症(虫垂炎やイレウスなど)、胸部・腹部外傷や消化管・気道異物などの救急疾患も関連科と共同で手がけて参りました。これからは本大学附属病院の役割と機能を熟知した上で、各科と連携をとりながら小児外科医として香川大学医学部附属病院はもちろんのこと香川県全体の小児医療に役立ちたいと考えております。

研究では基礎研究として小児腫瘍における接着分子(カドヘリン、カテニン)の発現や臨床研究として先天性横隔膜ヘルニアの管理や予後判定、などを行ってきました。また、最近、ロンドン大学クイーンメアリー校で上部消化管運動の研究をHigh resolution manometryやImpedance-pHモニターを用いて行いました。成果としては胃食道逆流症と慢性咳嗽患者

や逆流防止手術後も持続する逆流症状との因果関係を知ることができました。日本に戻ってからはこれらの手技を用いて小児の食道運動障害や胃食道逆流症またそれに付随する誤嚥性肺炎の研究を続けております。特にこれらの食道機能測定方法は小児のみならず、成人の機能性消化器症状を持つ患者さんの病態解明にも役立つものと期待しております。また、臨床研究と同様に基礎研究に対してもトランスレーショナルリサーチの姿勢で取り組んで参りたいと思います。

さて、大学病院の使命は診療、研究を行うと同時に、将来を担う医学生や研修医のための教育カリキュラムを作り、実践することにあると思います。現在日本小児外科学会は全国の小児外科医療の是正を目的とし、小児外科の卒前、卒後教育の標準化を計画しています。それによると小児外科専門医は全国で800名は必要であり、その割合で算出すると専門医は香川県に7-8名、四国全体では約30名が必要となってきますが、実際の専門医の数はその半分の数にも満たないのが現状かと思われまます。香川大学医学部は全国の大学医学部で約30%しかない小児外科学講座と診療科を独立した形で持っており、その教育における私どもの責任は香川県のみならず、四国全域に及ぶのではないかと考えております。小児外科専門医育成が急務ですが、まずは若い人に小児外科に触れる機会をつくることが重要で本大学医学部の学生や本大学附属病院の研修医の皆様小児外科の魅力と必要性を十分に伝えて参りたいと思います。

小児外科は手術や患児の管理技術は外科の応用であり、外科専門医制度から考えても「外科」に属しますが、臨床の場合は新生児や小児を扱う外来や病棟です。したがってこれから小児科、NICU、産科、外科、麻酔科、ICU、手術部、救急部など、病院内の多くの診療科や診療部のお世話になるとと思いますので、皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

## 感染制御部長就任にあたって

感染制御部長 松永 卓也



平成24年4月1日付けで香川大学医学部附属病院感染制御部長を拝命致しました。この場をお借りして感染制御部の御紹介をさせて頂くとともに御挨拶申し上げます。感染制御部は、感染対策室とHIV・AIDS対策室から成り立っており、当院内及び香川県内の感染対策を充実させるために活動しています。

感染対策室は、院内感染の発生による患者さんの転帰改善を目指しています。具体的には、1.院内感染症モニタリングとサーベイランス、2.MRSA用抗生物質・広域抗生物質の使用状況把握、3.MRSA感染症治療用抗生物質の血中濃度測定、4.Infection

control team (ICT) の院内巡回、5.血液・体液暴露エピソードの発生状況把握、6.院内感染予防マニュアル作成と改訂、7.職員研修の実施、8.地域中核病院としての社会的活動、に取り組み、感染対策の充実をはかっております。更に、院内感染に関して、(1)感染対策委員長である病院長に意見を報告し指示を受け、迅速に対処する事、(2)院内感染に関する活動状況・検討結果を感染制御委員会に報告する事、(3)各診療科、病棟、病棟医長会議に報告する事を行っています。

当院は、香川県のエイズ(AIDS)診療中核拠点病院に指定されており、総合的なAIDS診療が行えるように各種関係職種からなるチーム医療体制を確立し、設備の整備を行っています。また、県内の他の拠点病院等に対する研修事業や医療情報の提供等、県内におけるAIDS診療においてリーダーシップを発揮しています。HIV・AIDS対策室では、1.患者(AIDS発症者)さん、抗体陽性者及びその疑いのある方の取扱いに係る指導、助言、患者さんに対するカウンセリング、2.院内感染の予防・防止、職員の教育・啓蒙、3.県内各拠点病院の医療従事者に対する研修実施、AIDS診療従事者の育成、情報提供、4.AIDS診療が円滑に行われる環境を整えるための調査・研究、等を行っています。更に、院内感染に関する活動状況・検討結果を感染制御委員会、各診療科、病棟、病棟医長会議等に報告する事を行っています。

これらの感染対策の充実のためには、今後も今までと同様に院内の全部署の感染制御に対するより一層の深い関心とご協力が不可欠です。皆様のなご一層のご支援とご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

## 新研修医をよろしくお願いします！

卒後臨床研修センター長 田宮 隆

平成24年3月22日に卒後臨床研修修了式を挙行し、医科44名、歯科3名の研修医を医師として新たな修練のステージへ送り出し、4月2日には、医科36名、歯科4名の新研修医を迎えることができました(写真)。

3月26日より計7日間の新研修医オリエンテーションを実施しました。初日に、臨床研修開始式を挙行し、千田病院長より記念品授与致しました。また、4月2日夜には本院診療科を挙げての盛大な新研修医歓迎会を開催し、多くの歓迎・激励を賜りました。新研修医の皆さんにとっては生涯の素晴らしい思い出となったことと思います。関係各位の皆さま方のご尽力に対し厚くお礼申し上げます。

新研修医は未熟な社会人・医療者であり、皆様にかたご迷惑・ご負担をおかけしますが、将来の本院・地域医療を担う新研修医に対して温かいご指導をよろしくお願い申し上げます。

新医師臨床研修制度(平成16年度)以降、260名の研修医(医科)が、本院の臨床研修プログラムに参加し、大多数が本院診療科での専門研修に進み、研鑽・活躍しています。本院は、県内の医師育成の中心的な役割を担える大学病院として、より一層の発展する努力を続けて参りますので、今後とも皆様よりのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

香川大学医学部附属病院の医師研修医数の推移



## 臨床教育開発棟竣工記念式典が挙行されました

地域医療教育支援センター長 大森 浩二

春爛漫の平成24年4月25日に、香川県関係者や地域医療担当病院の先生方、建築関係の方々、大学本部の方々のご臨席のもと、香川大学医学部臨床教育開発棟の竣工記念式典が同棟1階総合事務室で行われました。最初に、森望医学部長から式辞が述べられました。すなわち、この臨床教育開発棟は、地域医療再生計画の一環として、地域の医療人の生涯学習の支援を目的とした香川県からの寄付を基に、約1年間の準備期間と建設期間を経て、総工費約2億円をかけて完成したものであること、ここに設置されたスキルスラボは、地域医療教育支援センターが音頭をとって、全ての診療科がアイデアを出し合って企画・整備したものであること、さらに、これらのラボを、県内の医師、看護師、救急救命士などを対象とした講習会などを通して、地域医療を担う全ての医療人に開放することで、この施設が、香川大学医学部の教育理念の一つである、医学・看護学の進歩、人類の福祉、地域医療の向上への貢献の拠点となるよう期待するとの考えが述べられました。続いて、県健康福祉部長川部英則様(知事代理)、長尾省吾学長の挨拶、工事功労者への感謝状の贈呈と進行し、大森センター長の施設概要説明のプレゼンテーションのあと、最後に千田彰一病院長も加わり、テープカットが行われました(左写真)。式典に続いて、内覧会を行いました。2階のスキルスラボAすなわち、救命救急心肺蘇生災害脳卒中ラボ、3階のスキルスラボBのPhysical

Exam Corner、Basic Skill Corner、Endoscopy and Ultrasound Corner、Advanced Skill Corner、Clinical Lab Cornerの5つのCornerに参加者をご案内しました(右写真)。次世代型高度救命救急シミュレーターのSimMan3Gや、体腔鏡手術のシミュレーターであるLAP Mentor、血管内治療のシミュレーターであるANGIO Mentor、経食道エコーも可能な超音波診断virtual simulatorであるVimedics等のデモンストレーションや、視聴覚フィードバックシステムなど、充実した実習・研修環境を見ていただきました。参加者は設備の充実振りに感心された様子で、是非、有効に活用して下さいとのコメントをいただきました。この様子は、同日のRNCとKSBの情報番組でも取り上げられ、SimMan3Gの瞬き、瞳孔反射などリアルな生体反応がテレビ放映され、地域の方々からも反響がありました。また、地元紙などにも報道され、多くの方から応援のメッセージをいただきました。既に、一部の先生には、臨床実習などをご利用いただいております(学生には極めて好評です!)、スキルスラボの紹介や予約システムを掲載した専用ウェブサイトや、学生証や職員証を用いる入室管理システムが稼動開始するまでの間も、地域医療教育支援センター(内線2203)にお申し込みいただければ、随時ご利用いただけます。皆様のご利用をお待ちしております。



## 医学部附属病院 病児・病後児保育施設 竣工記念式典が行われました

総務課

4月17日(火)に、香川県関係者、大学本部の方々のご臨席のもと、医学部附属病院病児・病後児保育施設竣工記念式典が行われました。千田病院長の式辞に始まり、香川県健康福祉部長及び板野理事(長尾学長代理)からのご挨拶をいただいた後、テープカットが行われました。



本施設は翌4月18日から運用開始となり医学部附属病院の就労環境が更に充実されました。

## 認知症疾患医療連携協議会・研修会開催

認知症疾患医療センター

PSW 川口 郁代

2012年3月1日、院内にて第1回認知症疾患医療連携協議会・研修会が開催されました。協議会は、地域における認知症疾患の保健医療の向上を目的として定期的に開催するもので、地域の医師等13名の委員で構成されています。千田病院長から挨拶の後、委員から活発な意見交換がありました。続いての研修会では「認知症の診断治療の最近の動向」と題して当院精神神経科森医師より講義があり、地域の関係者77名が出席されました。



## 「かがわ肝疾患ネットワーク」発刊

消化器・神経内科学 教授

正木 勉

肝炎対策及び肝疾患治療等に関し、香川県肝疾患診療連携拠点病院に指定されている香川大学医学部附属病院及び香川県立中央病院と香川県健康福祉部薬務感染症対策課が中心となり、これまでに取り組んできた事業等を取りまとめた冊子「かがわ肝疾患ネットワーク」を発刊しました。

本冊子を手引きに、肝疾患に関する治療や相談業務等に活用していただければ幸いです。



## ささえる、つながる、リードする。

平成24年4月5日開催の病院企画運営委員会で病院のキャッチコピーを決定しました。香川大学医学部附属病院は、讃岐の丘の恵まれた環境の中で、医療への志と使命を持つ全ての医療スタッフが、地域・日本国内、そして世界の医療機関ともつながりながら、最新、最善の医療と研究・教育に、ひたむきに取り組んでいる大学病院であることを表しています。



ささえる、つながる、リードする。

香川大学医学部附属病院  
KAGAWA UNIVERSITY HOSPITAL

## 「香川麻酔科医会サマースクール2012」開催のお知らせ

今年も、来る8月4日(予定)に、サマースクールを開催いたします。臨床につながる講義と、ハンズオンセミナーを行う予定です。定員30名、対象は初期臨床研修医ですが、その他の方も大歓迎です。詳細は香川大学麻酔学講座ホームページ(<http://www.kms.ac.jp/~qqc/index.htm>)をご覧ください。

## イベントカレンダー H24.6月～H24.8月 予定表

日時	時間	場所	名称及び内容	担当	担当
6/9 土	8:35～	アルファあなぶきホール	第26回 日本神経救急学会	救命救急センター	(087)891-2392
6/13 水	19:00～20:30	子どもと家族こころの診療部	発達障害学校・医療連絡協議会	子どもと家族こころの診療部	(087)891-2420
6/24 日	午後予定	サンポートホール高松61会議室	日本小児科学会香川地方会	小児科	(087)891-2171
7/2 月	18:00～19:00	管理棟4F会議室1	緩和ケア学習会	腫瘍センター	(087)891-2054
7/7 土	12:00～18:00	香川国際会議場	第91回 日本泌尿器科学会四国地方会	泌尿器・副腎・腎移植外科	(087)891-2202
7/9 月	18:00～19:00	臨床講義棟1F	NST勉強会	腫瘍センター	(087)891-2054
7/10 火	18:00～20:00	臨床研究棟4F A会議室	第13回最新医学研究会(呼吸器)	内分泌代謝・血液免疫呼吸器内科	(087)891-2145
7/11 水	19:00～20:30	子どもと家族こころの診療部	発達障害学校・医療連絡協議会	子どもと家族こころの診療部	(087)891-2420
7/20 金	14:00～16:00	患者図書室オリーブの郷	がん患者サロン	腫瘍センター	(087)891-2363
7/28-29 土日	16:00～20:00	トレスタ白山	四国アイランド歯科口腔外科合同セミナー	歯・顎・口腔外科	(087)891-2227
7/29 日	14:00～16:00	かがわ国際会議場	平成24年度日本肝臓学会 肝がん撲滅運動(市民公開講座)	消化器・神経内科学	(087)891-2156
8/4 土	15:30～18:00	高松シンボルタワー	香川麻酔科医会サマースクール2012	麻酔・ペインクリニック科	(087)891-2223
8/8 水	19:00～20:30	子どもと家族こころの診療部	発達障害学校・医療連絡協議会	子どもと家族こころの診療部	(087)891-2420
8/18 土	10:00～17:00	香川大学医学部附属病院	手術体験セミナー	手術部	(087)891-2283

外来駐車場は患者さまのもの!!  
駐車ルールを守りましょう!!

編集委員会: 石井(看護)、石川(外来)、若瀬(病棟)、岡田(総務)(50音順)  
鬼村(患者サービス)、梶川(検査)、加藤(放射線)  
白神(麻酔)、芳地(薬剤)、松本(看護)、安友(管理)  
横井(情報) [委員長 千田病院長]